

### 1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

|         |                                |            |             |
|---------|--------------------------------|------------|-------------|
| 事業所番号   | 0970201034                     |            |             |
| 法人名     | 有限会社 邦史会                       |            |             |
| 事業所名    | 居宅介護複合施設 うるしばら グループホーム 青の蓮 1丁目 |            |             |
| 所在地     | 栃木県足利市福居町843                   |            |             |
| 自己評価作成日 | 平成22年9月20日                     | 評価結果市町村受理日 | 平成22年11月24日 |

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

|          |   |
|----------|---|
| 基本情報リンク先 | <a href="http://www.t-kjcenter.jp/kaigosip/Top.do">http://www.t-kjcenter.jp/kaigosip/Top.do</a> |
|----------|---|

【評価機関概要(評価機関記入)】

|       |                  |
|-------|------------------|
| 評価機関名 | 社会福祉法人栃木県社会福祉協議会 |
| 所在地   | 栃木県宇都宮市若草1-10-6  |
| 訪問調査日 | 平成22年10月22日      |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

|  |
|--|
| <p>・運営母体の医療を活かした介護・医療との連携がはかれており、定期的な往診の他に急変事は昼夜を問わず医療支援がえられる。希望があれば看取りも行っている。</p> |
|--|

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

|  |
|--|
| <p>当ホームは市南西部の中心地に比較的近い閑静な住宅地に位置している。母体となっている病院は、以前から地域住民から信頼を得ている地域の拠点病院である。ホームでは中国古典の「人・義・礼・知・信」を下に、「人を敬う」や「人と挨拶、人の目を見て話す」等を運営理念として日々実践に努めている。ホームでは併設事業所と共に自治会に加入しており、運営推進会議等で地域の情報を得ている他、防災訓練に地域からの協力を得られている等、地域とは密接な関係を築いている。また、ホームでは入居者を最期まで支援するとの基本姿勢があり、協力医との連携や入居者毎の看取りマニュアルを作成する等、終末期の支援にも積極的に取り組んでいるホームである。</p> |
|--|

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項目  | 取り組みの成果<br>↓該当するものに○印   | 項目   | 取り組みの成果<br>↓該当するものに○印   |
|---|---|--|---|
| 56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる<br>(参考項目:23,24,25)     | ○ 1. ほぼ全ての利用者の<br>2. 利用者の2/3くらい<br>3. 利用者の1/3くらい<br>4. ほとんど掴んでいない | 63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている<br>(参考項目:9,10,19)   | ○ 1. ほぼ全ての家族と<br>2. 家族の2/3くらいと<br>3. 家族の1/3くらいと<br>4. ほとんどできていない    |
| 57 利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある<br>(参考項目:18,38)            | ○ 1. 毎日ある<br>2. 数日に1回程度ある<br>3. たまにある<br>4. ほとんどない                | 64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている<br>(参考項目:2,20)                     | ○ 1. ほぼ毎日のように<br>2. 数日に1回程度<br>3. たまに<br>4. ほとんどない                  |
| 58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている<br>(参考項目:38)                 | ○ 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない  | 65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている<br>(参考項目:4) | ○ 1. 大いに増えている<br>2. 少しずつ増えている<br>3. あまり増えていない<br>4. 全くいない           |
| 59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている<br>(参考項目:36,37)  | ○ 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない  | 66 職員は、生き活きと働いている<br>(参考項目:11,12)                                      | ○ 1. ほぼ全ての職員が<br>2. 職員の2/3くらいが<br>3. 職員の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない       |
| 60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている<br>(参考項目:49)                | ○ 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない  | 67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う                                       | ○ 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    |
| 61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている<br>(参考項目:30,31)       | ○ 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない  | 68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う                                   | ○ 1. ほぼ全ての家族等が<br>2. 家族等の2/3くらいが<br>3. 家族等の1/3くらいが<br>4. ほとんどできていない |
| 62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている<br>(参考項目:28) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない  |  |   |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己                | 外部  | 項目  | 自己評価  | 外部評価   |  |
|-------------------|-----|---|---|--|--|
|                   |     |   | 実践状況  | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容  |
| <b>I.理念に基づく運営</b> |     |   |   |  |  |
| 1                 | (1) | ○理念の共有と実践<br>地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている  | 企業理念と共にホームの理念をスタッフルームに掲げ朝の申し送り時に首読する事によって共有・実践に努めている。理念の一つに「人と挨拶」があり地域住民にも挨拶を欠かさず行う事で信頼関係を築くようにしている | 中国古典の人・義・礼・知・信を引用し、「人を敬う」、「人と挨拶、人の目を見て話す」等の運営理念を作成しており、朝礼時に職員で唱和及び確認を行い、実践に努めている。  | 地域密着型サービス事業所として地域との交流や具体的な支援の方針等を全職員で協議しながら、当ホーム独自の理念や方針を構築していく事に期待したい。                  |
| 2                 | (2) | ○事業所と地域とのつきあい<br>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している  | 地域のお祭り・幼稚園児・小学生との交流を行い地域老人会とのカラオケ大会を行っている。また地域で行っている「いきいきサロン」への参加の呼び掛けをして頂いている                      | 自治会には併設事業所と共に施設として加入している。地域の老人会との交流は入居者の重度化に伴い、老人会側から年2回の訪問がある。また、地域のお祭りでは御神輿が当ホームの前で止まってくれたり、幼稚園行事に招待される等、地域との交流に取り組んでいる。 |  |
| 3                 |     | ○事業所の力を活かした地域貢献<br>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている  | 運営推進会議での議題で認知症を取り上げたり、地域の方を対象とした介護教室を開いている  |  |  |
| 4                 | (3) | ○運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実践、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている                                     | 2ヶ月毎に会議を開きサービス内容の報告を行っている。その中で改善点があれば改善し、次回の会議で報告している   | 会議ではホームからの現状報告や参加者から地域の情報を提供してもらう他、参加者との意見交換をととして運営に役立てている。参加者は、原則として議題によりその都度変更しているが、市の担当者には毎回出席を要請している。                  |  |
| 5                 | (4) | ○市町村との連携<br>市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる  | 疑問点などは、質問・相談をしすぐに対応して頂いている  | 市担当者とは運営推進会議等をととしてホームの現状を把握してもらっている他、機会あるごとに電話等で相談をしており関係は良好なものとなっている。   |  |
| 6                 | (5) | ○身体拘束をしないケアの実践<br>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 毎月の話し合いと年1回の全体での勉強会を行う事で理解を深めている。また建物の構造上暗照番号での出入りになっているので、日中は出来る限り手動での開閉に心掛けている                    | 職員各々により身体拘束の捉え方が異なる場合があることから、管理者が中心となり日々の支援や勉強会をととして身体拘束の共通認識に努めている。各ユニットの入口は自動ドアになっており夜間は施錠しているが、日中は手動で開閉できるようにしている。      | 身体拘束に関する研修等を法人全体で行っているが、それらが実践の介護の場面においての言葉掛けや支援方法等を含めて、さらに全職員が身体拘束についての研鑽を深めていく事に期待したい。 |

グループホーム青の蓮(1丁目)

| 自己 | 外部  | 項目  | 自己評価   | 外部評価  |                   |
|----|-----|---|--|---|-------------------|
|    |     |   | 実践状況   | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 7  |     | ○虐待の防止の徹底<br>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている     | 外部の研修に参加し伝達研修を全体に行い理解を深めている。またスタッフルームに掲示し気を付ける様にしている   |   |                   |
| 8  |     | ○権利擁護に関する制度の理解と活用<br>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | 制度を利用している利用者もいる事から理解出来ているスタッフもいるが全スタッフが理解しているとはいえないので勉強会や研修に参加し理解していきたい  |   |                   |
| 9  |     | ○契約に関する説明と納得<br>契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている                      | 契約書・重要事項の説明を充分に行ない疑問点があればその都度分かりやすい言葉で納得がいくまで説明している。また改定時には文章で配布し説明をおこなっている                                    |   |                   |
| 10 | (6) | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映<br>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている                  | 出入口カウンターに意見箱を設置し利用して頂いている。家族の面会時気兼ねなく不満や苦情・要望が言えるような信頼関係を築けるようにしている。要望等があった場合すぐ対応し全スタッフが周知できるように申し送りノートを活用している | 家族の来所時に意見や要望等を確認しており、改善が必要となる申し出があった場合には職員と協議したうえで改善に取り組んでいる。入居者や家族からの要望により、入浴回数を増やしたり、食事の味付けや調理法を変更する等、柔軟に対応している。            |                   |
| 11 | (7) | ○運営に関する職員意見の反映<br>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている                                   | 定期的に会議を行ない業務の見直しなど必要に応じて行っている。管理者の判断で行う事もあるが、報告は必ず行い代表者の意見を伺っている   | 管理者や各フロアリーダーと職員は定期的に話し合っており、出された意見や提案等は施設長まで伝わる様になっている。職員からの提案により、福祉用具の補充や職員の配置状況に過不足があったときは、各フロアから職員を調整できるようになる等、運営に反映されている。 |                   |
| 12 |     | ○就業環境の整備<br>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている   | 年2回の人事考課表をもとに仕事の意欲・成果を評価し向上心が持てる様努めている   |   |                   |
| 13 |     | ○職員を育てる取り組み<br>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている      | 知識・技術・専門知識などレベルアップを図る為、社内研修・外部研修に参加させている   |   |                   |

グループホーム青の蓮(1丁目)

| 自己                           | 外部  | 項目   | 自己評価   | 外部評価  |                   |
|------------------------------|-----|--|--|---|-------------------|
|                              |     |  | 実践状況   | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 14                           |     | ○同業者との交流を通じた向上<br>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 足利市医師会・その他の団体が主催する地域合同の研修に参加し質の向上を図る                               |   |                   |
| <b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b> |     |  |  |   |                   |
| 15                           |     | ○初期に築く本人との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている           | 今までの生活環境が変わる事での不安を受け止め安心感が得られるように寄り添っている                           |   |                   |
| 16                           |     | ○初期に築く家族等との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている                      | 入居前より家族の困っている事、苦勞されていた事等を受け止め、何を希望しているのかを伺いサービスに反映させている            |   |                   |
| 17                           |     | ○初期対応の見極めと支援<br>サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている                  | 本人・家族の意向を踏まえたサービス計画書にて支援を提供しその時に必要なサービスは何かを家族・スタッフで話し合い可能な限り対応している |   |                   |
| 18                           |     | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている                                  | 本人に役割を持ってもらい一緒に行う事で時間を共にしている                                       |   |                   |
| 19                           |     | ○本人を共に支えあう家族との関係<br>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている                   | 定期的に面会に来て頂き家族との時間をもってもらうように心がけている。また日常の様子や報告や家族からのアドバイスを頂いている      |   |                   |
| 20                           | (8) | ○馴染みの人や場との関係継続の支援<br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている                               | 友人・知人の面会時ゆっくり話しが出来るよう自室にて過ごして頂いている                                 | 家族から入居者の生活歴や職歴等の情報提供を受け、馴染みの場所や事柄の把握に努めている。知人の来所もあるが、次第に足が遠のいてしまうことが多いので、来所時にはゆっくりすごしてもらえる様に配慮している。 |                   |
| 21                           |     | ○利用者同士の関係の支援<br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている                           | 利用者同士の関係を把握する事によって孤立する事ないようにスタッフが間にはいり関わりがもてるようにしている               |   |                   |

グループホーム青の蓮(1丁目)

| 自己                                 | 外部   | 項目   | 自己評価  | 外部評価  |                   |
|------------------------------------|------|--|---|---|-------------------|
|                                    |      |  | 実践状況  | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 22                                 |      | ○関係を断ち切らない取組み<br>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている                    | サービス終了後も家族が遊びに来られたり電話にて相談を受ける事もある。時にはサービス利用時にその方が好きだった物を送って頂いたりしている               |   |                   |
| <b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> |      |  |   |   |                   |
| 23                                 | (9)  | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している   | 本人・家族からの要望・希望の把握に努めるため本人と話したり家族から情報を得ている  | 入居者の会話やしぐさ等、日常生活の中から本人の思いや意向を把握する様に努めている。本人から要望がなくても過去に出掛けて喜ばれた場所等には再度出かけるようにしている。                                |                   |
| 24                                 |      | ○これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている                                       | 家族からの情報や本人との会話から生活歴などを把握するようにしている   |   |                   |
| 25                                 |      | ○暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている   | 1日の過ごし方やその方の出来る事を毎日記録してどのような思いで生活しているかを感じとれるようにしている                               |   |                   |
| 26                                 | (10) | ○チームでつくる介護計画とモニタリング<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 毎月会議を行う事で問題点や課題をみつけサービスの見直しを行っている。家族からの意見があった時はサービスの変更を行い速やかに対応している               | 入居時に本人及び家族からの意見を確認し、スタッフ会議を開催したうえで介護計画を作成している。作成後は職員から日々の支援で気付いた点や問題点を上げてもらい、1カ月毎に家族と共にモニタリングを行い、現状に合ったものに変更している。 |                   |
| 27                                 |      | ○個別の記録と実践への反映<br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている                        | 日々の様子をケースに記録し毎朝申し送りを行い、押し送りノートにて情報の共有を行う事によって統一したケアを提供している。月末の会議時のサービス見直しにも活用している |   |                   |
| 28                                 |      | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化<br>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる               | その時のニーズにより事業所の機能を生かしている(特浴での入浴など)。また入退院の支援を行っており医療面での支援も出来ている                     |   |                   |

グループホーム青の蓮(1丁目)

| 自己 | 外部   | 項目  | 自己評価  | 外部評価  |  |
|----|------|---|---|---|--|
|    |      |   | 実践状況  | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容  |
| 29 |      | ○地域資源との協働<br>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している                                      | 地域からの情報を定期的に開催している会議より得る事が出来ており地域での行事などにも参加している   |   |  |
| 30 | (11) | ○かかりつけ医の受診支援<br>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している                                  | 主治医による2回/月の往診、必要時の連絡・往診・助言・指示が受けられる。夜間緊急時も往診して頂いている。専門医療が必要な場合主治医を通して紹介してもらい医療を受ける事も出来る | 当法人病院の協力医をかかりつけ医とする場合が多いが、本人や家族の希望により他病院をかかりつけ医とする場合もある。協力医以外での受診の際は家族に付添いをお願いしており、体調や日頃の生活状況を家族に伝えている他、受診結果についても共有している。  |  |
| 31 |      | ○看護職との協働<br>介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している                          | 異常時は看護師へ毎日の状態し主治医からの指示を仰ぎ処置等対応して頂いている。夜間も担当する看護師へ異常時電話連絡し対応して頂いている                      |   |  |
| 32 |      | ○入退院時の医療機関との協働<br>利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 入院した場合定期的に面会に行き情報を得るようにしたり退院後の受け入れ状況を伝えたり連携に努めている。主治医より入院先の担当医との連絡も行って頂いている             |   |  |
| 33 | (12) | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援<br>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる  | 救命救急講習を受講し急変時にすぐ対応出来る様に努めている。緊急時のマニュアルや対応について勉強会を行っている                                  | ホームでは重度化してもできるかぎり最期まで支援していく方針であり、入居者毎に終末期の対応方針を作成している。家族からは入居時だけでなく重度化してきた段階にも再度同意書を書いてもらっている。同法人の協力医には24時間体制で対応してもらっている。 |  |
| 34 |      | ○急変や事故発生時の備え<br>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている  | 避難訓練を年/2回実施し非常口からの避難誘導や消火器の使用方法などの訓練を受けている。また地域の方にも参加してもらい訓練を行なった                       |   |  |
| 35 | (13) | ○災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている  | 避難訓練を年/2回実施し非常口からの避難誘導や消火器の使用方法などの訓練を受けている。また地域の方にも参加してもらい訓練を行なった                       | 年2回避難訓練を実施しており、内1回は地域住民にも参加してもらっている。併設している事業所職員との連携体制も図りながら有事の際には迅速な対応ができるよう取り組んでいる。                                      | 災害対策については当施設が地域の拠点的なことから、今後、大規模災害に備え飲料水や食糧等の備蓄について法人全体で検討していくことに期待したい。 |

グループホーム青の蓮(1丁目)

| 自己                               | 外部   | 項目   | 自己評価  | 外部評価  |                   |
|----------------------------------|------|--|---|---|-------------------|
|                                  |      |  | 実践状況  | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| <b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b> |      |  |   |   |                   |
| 36                               | (14) | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保<br>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている                   | プライバシー保護の勉強会を行いスタッフルームに対応方法を掲示し言葉使いなど敬意を払った支援に努めている。運営理念の中にも「人」人を敬う事を掲げている    | 入居者には苗字や名前に「さん」付けで呼んでおり、慣れ親しんだ関係においても言葉使いには注意をしている。トイレやお風呂にカーテンを付けプライバシーに配慮している。広報紙等に写真を掲載する場合も本人や家族に口頭や文書で同意を得ている。 |                   |
| 37                               |      | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援<br>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている                     | アセスメントをもとにして本人の思い・希望を日常生活に取り入れ、埋もれがちになるその人らしい力を引き出せるようにする。表情などからもくみ取り支援を行っている |   |                   |
| 38                               |      | ○日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 一人一人のペースに合わせた支援を行ない見守りながら1日を過ごして頂いている   |   |                   |
| 39                               |      | ○身だしなみやおしゃれの支援<br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している                                  | 理美容を利用して頂いたり、本人行きつけの美容院に家族と行っている。買い物時好みの衣類を購入して頂いている                          |   |                   |
| 40                               | (15) | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている     | 本人の出来る事を一緒にやって頂いたり食べたいメニューを伺い出前などもとっている。スタッフが一緒に会話やテレビを楽しみながら食事している           | 献立は各フロア毎に作成しているが、できるだけ季節感のあるメニューを心掛けている。食事は職員も入居者と一緒と同じ料理を食べている。食事の内容が変化や楽しめるものになるよう、弁当にしたり出前を取ることもある。              |                   |
| 41                               |      | ○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている          | 個々に応じた食事形態や、食事・水分量の把握を行い記録している。不足時は他の物で補給して頂いている                              |   |                   |
| 42                               |      | ○口腔内の清潔保持<br>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている                   | 毎食後声掛け・見守り・一部介助をおこない口腔内の清潔に努めている。定期的に義歯の洗浄を行ない、必要な方は訪問診療により対応している             |   |                   |

グループホーム青の蓮(1丁目)

| 自己 | 外部   | 項目  | 自己評価  | 外部評価  |  |
|----|------|---|---|---|--|
|    |      |   | 実践状況  | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容  |
| 43 | (16) | ○排泄の自立支援<br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている                              | 排泄チェック表をもとに本人の状態にあった支援を行っている。失禁があった場合は自尊心を傷つけないよう声掛けを行っている。また素振りがみられたらさりげない誘導を行っている | 重度化に伴いオムツを使用する入居者が増えてきている状況にある。失禁時はトイレや自室へ誘導し、他者に気付かれないよう対応している。  | 入居者のADLの低下等からオムツ使用が増える事は否めないが、個別の排泄パターン等の把握に努め、トイレでの排泄ができるよう支援に取り組むことに期待したい。 |
| 44 |      | ○便秘の予防と対応<br>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる  | なるべく薬に頼らないようにし、牛乳・ヨーグルト・ヤクルトなどで対応し体操なども取り入れている                                      |   |  |
| 45 | (17) | ○入浴を楽しむことができる支援<br>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている                        | 希望に合わせて入浴して頂いている。拒否が見られた時は時間をずらし再度声掛けしている。状態に合わせて対応をすることによって安心して入浴して頂いている           | 基本的には週2回入浴しているが、希望があれば毎日の入浴にも対応している。入浴に拒否傾向が強い入居者もいるが、タイミングや言葉掛けを工夫しながら入浴を支援している。また、職員からの提案もあり、入居者の一部は併設事業所にある特殊浴槽での入浴支援も行っている。 |  |
| 46 |      | ○安眠や休息の支援<br>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している   | 個々の状況により自室にて臥床して頂いたりソファで休憩して頂いたり安心出来るよう支援している                                       |   |  |
| 47 |      | ○服薬支援<br>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている  | 服薬管理表にて誤訳を防ぎそれぞれの薬の用法をまとめたファイルを用意し確認出来る様になっている。必要があればその都度話し合いも行っている                 |   |  |
| 48 |      | ○役割、楽しみごとの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている                             | 本人の生活歴を知る事によって趣味の詩吟や歌などを日常生活に取り入れている。気分転換に散歩にお誘いし個別に対応している                          |   |  |
| 49 | (18) | ○日常的な外出支援<br>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | 希望によりスタッフと一緒に買い物に出掛けたり本人の状態をみながら外食に出掛けたりしている合同外出はレベルの低下により実施出来ない                    | 最近では2～3名の入居者で外出し、近所の食堂や買い物に出かける場合が多いが、通院の帰り道に外食をしてくる場合もある。日常的には近所の神社や公園に散歩等に出かけている。   |  |

グループホーム青の蓮(1丁目)

| 自己 | 外部   | 項目   | 自己評価   | 外部評価  |                   |
|----|------|--|--|---|-------------------|
|    |      |  | 実践状況   | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 50 |      | ○お金の所持や使うことの支援<br>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している  | 自分で管理できる方は通院時の支払いや買い物での支払いをおこなっている                                       |   |                   |
| 51 |      | ○電話や手紙の支援<br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている   | 公衆電話や職員の取次ぎにより対応している   |   |                   |
| 52 | (19) | ○居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 場所がわかるような工夫をしたり室温調整を小まめに行い部屋で休まれる時はカーテンで調整している                           | 共用空間は定期的な換気を心掛けており、空気のよどみや気になる臭い等は感じられない。また、館内の温度も適切に管理されている。リビング等には季節の花が飾られ、テレビの前にはソファが置かれ、ゆったりと観賞できるようになっている等、入居者が快適に過ごせるよう配慮されている。 |                   |
| 53 |      | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり<br>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている  | フロアで思い思いに過ごしたり気のあった利用者同士自室でおしゃべりを楽しんでいる。建物の構造上独りになれるスペースを確保出来ていない        |   |                   |
| 54 | (20) | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている  | 個人個人に応じた家具類の配置やベッドの位置など利用者によって考えている                                      | 自分の部屋が判らない入居者のために入口に写真付きの名札を付けている。各居室には本人の使い慣れた家具や家電類等が思い思いに持込まれている他、希望によっては畳を敷く入居者もいる等、各々が快適に過ごせる様に支援している。                           |                   |
| 55 |      | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり<br>建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している   | 自室がわかるようにネームプレートに写真を掲示したり場所がわかるように張り紙をしている。衣類の片づけなど自分で出来る方はタンスに閉まって頂いている |   |                   |